

東京都立野津田高等学校

【校長】 池戸 成記 【生徒数】 452名 【学級数】 16学級



【課題・改善】

○ 前回学んだ知識を生かし、自らの健康課題を解決する力の育成。

【今後の課題】

○ 学年で実施した内容を、学校全体で共有し、生徒の意識を高めていくと同時に、保健体育等の授業や、学校図書館の活用などの探究活動によって、知識を深めていく。

【実態・課題】

○ 見通しをもって行動することや基本的な生活習慣を身に付けること、学校と保護者の連携のさらなる充実に課題がある。

⇒ 自らの意思決定・行動選択により、生き方や心身の健康状態が変化することについて理解し、適切な行動ができるよう知識を習得する。

目標

- ・ 自らの健康への意識を高め、生涯健康を保持増進できる資質・能力の育成

【成果】

○ 生徒の意識に関する成果

事後アンケートでは、命の大切さについての理解、今後の自分の人生や人生設計について大切に考えること、相手を思いやる気持ちの大切さを理解したと回答した生徒が多くいた。

○ 生徒の態度に関する成果

保健室へ相談、雑談に来る生徒がいた。

○ その他（教員の授業改善など）

性教育の授業をする際、授業を受けて、今後どうするのか選択する力を身に付けさせたいという思いで授業を行うようになった。先の事を考えて行動するという事を保健の授業でも実施したい。

【取組】

○ 産婦人科医を招へいした授業の実施

「ライフスキル講座」として、産婦人科医より、妊娠・出産、ライフプランなどについて、専門医の立場から生徒にお話をいただいた。

○ 図書館の利用調査

関連書籍の特集コーナーを設置し、授業後、どのくらいの生徒が図書館を利用し、書籍を手取るか集計して行動変容を観察した。

【取組（詳細）】

○ 産婦人科医を招へいした授業の実施

・ 授業内容の説明

今年度、第3学年を対象に、卒業後社会に出た生徒たちが困らないように対応できる知識を身に付ける目的で授業を設定した。妊娠・出産の基本的な知識の復習及び、発展として、実際に妊娠・出産にかかる費用、中絶するのか、産み育てるのかについての選択、相談できる場所について、妊娠適齢期について等、実生活に基づいた具体的な内容をテーマに、産婦人科医から専門的なお話を伺った。

・ 生徒の様子

前を向いて真剣に聞いている生徒が多かった。



第3学年対象
「ライフスキル講座」

○ 図書館の利用調査

本校図書館に「ライフスキル講座」に関連して、妊娠・出産や性教育に関する本の特集コーナーを設置した。授業後、興味・関心をもった生徒がどの程度図書館の本コーナーを利用するのか、司書と連携して、生徒の行動変容を見とる。

産婦人科医から、活字よりも視覚的情報（図やイラスト）が多くある書籍の方が、生徒が手に取るのではないかと、との御助言をいただいた。今後も生徒に合った内容を検討しながら、特集コーナーを充実させていく。



本校図書館
「ライフスキル講座」関連書籍を集めた「特集コーナー」